レッスン：PYR No.56

テーマ：2つのエゴ

EREVNA PYR 56 KE07 S4/21106

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

レッスンの中でいわゆるエレメンタル、二元性の結果として生み出されたそれについて話しました。そしてそれらのエレメンタルを2つの主なカテゴリーに分けました。まず、願望想念のエレメンタル、もうひとつは想念願望のそれです。

　無知のステートにいる間、つまり現在のパーソナリティーがLifeそれ自体から多くを現していない時には、現在のパーソナリティーは大部分願望想念のエレメンタルを創造しています。言い換えれば、そのパーソナリティーは思考の中心においてさえも考えていないということです。

　説明したように、初めは現在のパーソナリティーを構成する3つの体はハートのセンターに根付いています。勿論、啓発に向かって成長するにつれて、それらは徐々に移動して、再形成された位置へと移動します。ですから、再形成に向けての動きの結果として、時々現在のパーソナリティーは想念願望型のエレメンタルを生み出すこともありますが、それは多くはありません。

　さて、それは二元性の結果として生じるのでしょうか？現在のパーソナリティーは2つの小さなエゴの現れ以外の何ものでもないと言いました。多くの人々、そしていろいろなシステム（＊スピリチュアルなグループのこと）でさえ、私たちには一つの小さなエゴがあり、Lifeを意味する一つのエゴがある、と主張しています。しかしそれは間違っています。

　現れとしての現在のパーソナリティーとは2つの小さなエゴです。一つは無知の中に留まることを望むエゴで、つまり初めのポジションに静止したまま留まることを願うエゴです；もう一つは経験、転生の結果として、徐々にゆっくりと影としての現在のパーソナリティーの方に移動していきます、なぜなら、現在のパーソナリティーとはLifeのスパークの影だからです。

　勿論、初めはそれら2つの小さなエゴは同じポジションにあります。そして転生、経験を重ねる結果として、一つはLifeのスパークに向かって移動を始めます。それが始まるまでは、現在のパーソナリティーは本能的な人生を送ります；罪悪感を抱くことはまったくありません。罪悪感はそのパーソナリティーがどのように行動・行為するか、つまり2つの小さなエゴが分離する時に初めてスタートするからです。

　レッスンで述べましたが、2つの小さなエゴのなかの大きな方がある距離に到達すると、より小さなエゴを引き寄せようとします。勿論、それは現在のパーソナリティーにとって多くの困難となります。なぜなら、小さなエゴは“生き残ろう”としてもがくからです。つまり静止して留まり、他のエゴの動きについていこうとしないからです。

　さて、これは現在のパーソナリティーが意識的に生き始めるようになる、3番目のサイクルの初めにおいて起こります。勿論、それはもう少し前からスタートします、たぶん2番目のサイクルをマスターする直前の2，3回の転生において。

　現在のパーソナリティーが部屋にいる間、大部分が願望想念であるエレメンタルを創造すると言いました。そしてそれは勿論その現在のパーソナリティーが2番目のサイクルのどのレベルにいるかによります。しかし、2番目のサイクルにいる間、現在のパーソナリティーは非常に低い波動の願望想念のエレメンタルを創造します。最初、そのパーソナリティーが1番目のサイクルを去り、2番目のサイクルに入ると、そこでは非常に多くの転生があります。それが2番目の転生で起きることです。

Page2

さて、Lifeからより多くを現すことを求める探究者は、日常生活における自分の行動を分析する必要あります；そして徐々に想念願望のエレメンタルを築くことを始めるべきです。勿論、それは最初は簡単ではありませんが、徐々に真剣な探究者は自動的にそれを行うようになるでしょう。

　つまり、あなた方は願望の結果としてエレメンタルではなく、2つの中のより大きなエゴの正しい思考によるエレメンタルを創造することを始めるべきです。そしてそれらのエレメンタルはエンジェルとして分類されるでしょう。

　あなた方は他の同胞の人間達を助けるための多くのエクササイズを与えられました。ですから、困っている人達に送るべきあなた方の助けはエンジェルとしてのエレメンタルであるべきです。そして、いいですか、それらのエレメンタルはそのなかに二元性がないのです。なぜならエンジェルとして分類されるエレメンタルには二元性はあるべきではないからです、なぜならアガピはそのなかに二元性はないからです。ですから徐々に、ゆっくりと多くの努力と共に、もし本当に努力すれば（いつもではなくても、少なくとも最初は）時々はそのようなエレメンタルを創造することができるようになることでしょう。

　Lifeはどうでしょうか、Lifeは二元性、思考を使うでしょうか？答えはノーです。自己実現に到達して二元性のエレメンタルを、あるいはそもそもエレメンタルを創造するでしょうか？彼等がエレメンタルを創造するか否かといえば、答えはイエスであり創造します。しかし、それは二元性の結果ではなく、ブレーシス（＊神の意志）の結果です。そして彼等が創造する全てのエレメンタルはエンジェルなのです。あなた方はそれを目指すべきです。

　さて、現在のパーソナリティーが実存の諸世界における最大の洗礼を受けるステートに到達すると、つまり超意識的意識の使用を通じて自己を表現するようになると、その時には二元性を使用しても、全てのエレメンタルは想念願望のそれとなります。

　それでは明確にしましょう：願望想念のエレメンタルを想念なしでも現すことができると思いますか？実際、願望想念のエレメンタルと言う時、ほんの短い時間、想念が願望を生み出します、しかし実際には想念は表現されず、それらのエレメンタルは想念願望と言うことはできません。なぜなら動機は願望だからです。

　想念願望のエレメンタルと言う時、それは表現される大部分は想念です；そしてそれが起きる時、２つのエゴのなかに大きな方による正しい思考が生じるのです。ですから、あなた方

一人一人は助けるためにエンジェルとしてのエレメンタルを創造することができるのです。

Ｑ：エクササイズとして他人を助けるために想念願望のエレメンタルを創造しようとするのは良いのですが、しかしもし私たちが自分自身のためにワークしたい時、それは願望想念ではないのですか？

Ｋ：あなたは他の人々のためにワークするだけでなく、日常生活において自分自身のためにもそれを実践する必要があります。２つの小さなエゴのなかのより小さなエゴのいわゆる正しい思考が心の表面に出てきたら、その時にあなた自身または他人にも真の利益にならない状況へと自分を導くのです。

　ある状況で自分自身を現す前に、行動に移すまえに考えることが大切です。あなたが誰かから間違っているとあなたが感じるようなことを言われたら、即座にそれに答えたり、行動したりしてはいけません。少し時間をおいて、物事のバランスを取ったり、あるいは時には行動に出る前に頭を冷やすべきです。そして徐々に、そのようにすることによって、２つのエゴのなかに大きな方が立ち上がり、その強さと高さを示すのを助けることができます。

Ｑ：天使的なエレメンタルは地のエレメントのなかに場所を占めているのでしょうか？

Ｋ：他人を助けるための天使的エレメンタルは現在のステートにおいても、そのパーソナリティーによって直接的に生み出されます；悪魔的なエレメンタルだけは地の中ですが。

Ｑ：人が成長すると、２つのうちのより小さなエゴはどうなるのですか？

Page3

K : 2つのエゴにおいて、大きな方がある距離に到達すると、それはより小さな方が移動し始めるべく努力をするようになります。そのような動きは３番目のサイクルにおいて始まります。なぜなら２つのエゴの間の距離が大きくなると、罪悪感がより大きくなるからです。３番目のサイクルにおいて、より小さい方はもう一方の方へ動き出し、その動きはより大きいエゴの動きよりも大きくなり、結果的に２つのエゴはより近くなります；それゆえに、そのパーソナリティーが自己実現に到達すると、２つの小さなエゴは一つとなり、二元性が表現される必要がなくなるのです。

　自己実現すると、それまで名前のあった“最後のパーソナリティー”が転生のサイクルに留まる場合、２つの小さなエゴとしての、思考・行動としての、他の人間とのコミュニケーションとしての二元性は表現されることはなく；コミュニケーションを取るための必要性としてのみそれは表現されるようになります。それ以外は、それが他人を益するため以外は、現れの波動の中に留まる理由はありません。勿論、意味は異なるものとなります、特に痛みの意味は。そのような人が誰かの痛みを軽減するとき、相手を助けるその人の痛みは甘いキスのようなものとなります。それが意味における違いです。

Q：自分が正しい思考を現しているとどのようにしてわかるのですか？

K：正しい思考は各人の気づきのレベルによります。あなたの現れがLifeから放射されるステートに到達しない限り、正しい思考は内側から出て来る、放射される何かである、と言うことはできません。それが可能かどうかと言えば、答えはイエスですが、しかし勿論その人はある“レベル”にある必要があります。

　私たちが正しい思考を現わすための道具は二元性です、状況、同じ問題についての私たちの行動をより小さなエゴとより大きなエゴの見地から比較することによって。２つの内のより小さなエゴが私たちを“正しい思考”へと導くことのないように注意する必要があります…もし小さなエゴによって導かれてしまうと、自分の個人的な利益だけのために働くことによって多くの痛みへと導かれてしまいます。

　しかし小さなエゴについてではなく、現在のパーソナリティーについて話しましょう。あなたは判断できるためには、自分自身のパーソナリティーにスペースを与えるべきです。そしてどのように判断しますか？比較します、なぜなら、この現れの波動のなかで何かを理解するためには何か他のものと比較する必要があるからであり、それは自動的に行われます。しかし、より大きなエゴの正しい思考を現わす努力については、似たような行動と比較する必要あります、例えば、小さなエゴが結果をもたらす原因となった時の行動とかを。

　それは簡単なことではありません、しかしそのパーソナリティーはそれをすることができます。より小さなエゴによる特定の決断が以前あなたに痛みをもたらした、そのような出来事に気づいている必要があります。しかし心配しないでください、常に楽観的であるべきです、ベストなことを希望するべきです、なぜならベストなことはあなたの内側にあるからです、それは全ての人の内側にあります。そしてパーソナリティーはそれを認識しません、なぜなら２つの小さなエゴのより小さい方が絶えず邪魔をするからです。

Q：２つの小さなエゴの動きと、蓋然的可能性のサイクルから可能性のサイクルへの動きとは、どのような関係になっているのでしょうか？なぜなら、小さなエゴは私たちの過去の選択によって作りだした蓋然的サイクルの癖の中に私たちを留めておくと思うのですが。

K：しかし、現在のパーソナリティーとしての私たちにはディバインの慈悲があることを忘れないでください。そして私たちの努力には、静止せずにLifeからより多くを現すようにという助けがあることを忘れないでください。さもないと、神の黙想は神聖なものとは言えません。

Q：より小さなエゴとより大きなエゴが分離し、トラブルが生じる時、どのようにして小さなエゴが大きなエゴに従うようにできるのですか？

K：それはLifeそれ自体からより多くを現す努力です。それによって小さなエゴは大きなエゴに従い始めるのです；それは法則であり、そして現在のパーソナリティーそして全ての人間はそれらの法則によって動くのです。私たちはその動きを加速させることができます、そうです、それゆえにあなたはエレブナにいるのです。動きを加速させ、必要以上の経験をしなくてもすむように。

Page4

私たちは不必要な経験をしていませんか？前に述べたように、私たちには自由意志があり、不必要な多くの経験を避けることができます。それゆえに、この地球上で最初に自己実現に到達した人は非常に多くの経験の後にそこに到達したのですが、後に続く人々の道のりはよりスムーズなものになります。なぜなら、先に到達した人達からの導きがあるからです。

　２番目のサイクルに入った全ての人間はいわゆる個人性と呼ばれるものを現しています。ですから、ですからその仕事は達成されたのです；他の人の“私”とは異なる“私”としての“私は私である”は。そして残っているのは“同じである”を現すことです。しかし、そのような低い気づきの状態から即座にLifeの本質を現すレベルに行くことはできません。私は今、現在のパーソナリティーとして、モナドセルフとして話しています。そのモナドセルフは他の人の私とは異なったものとして“私は私である”と言うことができます。そして転生を通じての努力とは。そのパーソナリティーがインナーセルフ、Lifeを現すことです。

　それはその現在のパーソナリティーに奉仕するでしょうか？実際、ノーです。それは創造界における他の人間の“未来”に奉仕します。なぜでしょうか？なぜなら、いいですか、注意して聞いて下さい、自己実現した現在のパーソナリティーが自己実現を魂のセルフエピグノシスへと渡し、その魂が自己実現した魂となり、テオーシス（＊神との再合一）においてその魂がスピリットモナドセルフに戻ると、自己実現したスピリットモナドセルフが誕生し、そのスピリットモナドセルフは惑星ロゴスとして、太陽系ロゴスなどとしてそれ自身の微細な部分を放ちます。そしてその惑星のロゴスはその惑星における全ての人間に同調することができ、いかなるレベルの気づきをも助けることができます。そしてその人間が経験した、そして経験しつつある全ての経験をよくわかっているのです。

　惑星ロゴスは惑星上における物理的現象を受け持っていると言いました。そして全ての物理的現象は人間に同じような経験を提供します。ですから、物理的現象をもたらすのは惑星ロゴスですが、しかしそれは痛み、罰を与えるためにそうするのではなく、人類がさらに進んで行くのを益するためです。

Q：惑星ロゴスは前にこのオーダーとつながっていたのですか？（＊生命の木を見ながら話しているようです）

K：ノ－、惑星ロゴスはこの中央の柱から直接にそれ自身を現しています、それはドミニオンで、ドミニオンズのオーダーを通じた一つの現れです。それはこの特定の惑星の全ての人間とつながっています。もしそれが太陽系のロゴスの場合には、その太陽系における全ての惑星とつながっており、同時にその太陽系内のすべての人間とつながっています。そしてロゴスはその惑星のために働いているすべてを受け持っています。それはロゴス的現れであり、それはドミニオンズのオーダー（あるいはイデアと言うこともできますが）を通してです。

　人間のイデアあるいは聖霊的イデアだけがあるのではない、と前にいいました。他のイデアもあります。そしてこれはもう一つのイデアであり、下降、それらの現れはLifeのアベニューを通じて行われます。なぜなら、それらはLifeの本質を完全に現し続けているからです。

　原因結果の法則に関しては、それは全ての人間のなかにあると言いました；そして惑星ロゴスは全ての人とつながっているので、原因結果の法則はまた惑星ロゴスの中にもあります。惑星ロゴスはまたLifeでもあるからです。

　ドミニオンズは体を必要としません。彼等はその意識をどこでも好きな所に広げることができ、同時にあらゆるところに存在し、同化、Lifeの多重性と共に全ての人間のなかにあります。彼等は最小の中に、そして同時に最大のなかにあります。彼等の体はどこにあるのでしょうか？それは二元性を通じた説明を越えた何かです。

Q：意識と体に関する質問があります。２つの小さなエゴをある種の意識として想像する、あるいは私たちの３つの体とダブルエーテリックと比較することができるでしょうか？

K：現在のパーソナリティーが可能性のサイクルを利用しているのかどうか、と言うなら、答えはノーです。そしてそのパーソナリティーは無数の蓋然性のサイクルを経験します。しかし、それがLifeのスパークに近づくようになると、それはつまり高いレベルの気づきが現されて、２つのエゴが移動する時ですが、この時点でそのパーソナリティーはいわゆる意識的意識のセルフエピグノシスを現し始めるようになり、意識的に生きることをスタートし、何が下で何が上であるかを知るようになり、何に真の価値があり、何はそうでないかを知り始めます。

　Page5

　現在のパーソナリティーとは思考・行動の仕方であり、それはLifeによって生かされていますが、Lifeを現してはいません。そうです、私たちは生きています。なぜなら、私たちはLifeによって、そして私たちの内側にあるLifeによって生かされているのです。それ故に、人間として私たちの内側にはLifeがある、と言うのです。私たちはただ生きているだけでなく、私たちにはLifeがあり、私たちは生きているのです。もしLifeのスパークが出て行ったなら、私たちは生きていないでしょう。私たちは動物界とは大きく異なっています。動物はエレメンタルであり、彼等の身体は聖霊的に築かれており、それは特定の動物の種族を受け持つアークエンジェルによってプログラムされている結果です。そして彼等が生きているのは、アークエンジェルによって現されているLifeの息吹によって生きているのです。しかし、人間の場合は、私たちの内側にLifeのスパークがあるので生きているのです。

　忍耐です、あなた方は常に楽観的である必要があります、全ての人間の行く先にはいつかより良い人生の日が訪れるという希望を持つ必要があります。私たちは痛みを通じて学びますが、しかしできるなら、私たちの表現、現れを通じて痛みを避けるようにすべきです。しかし、痛みが来た時には、笑顔と共にそれに向き合うべきです。それは終わりではありません。Lifeに終わりというものはありません。痛みには終わりがありますが、Lifeには終わりはないのです。アガピには終わりはなく、アガピは全ての人の内側にあり、私たちはそれを現そうと努力すべきです。あなたがアガピを体験する時には、それを失いたくないと思うことでしょう。

Q：どのような種類の自己実現した現在のパーソナリティーが境界を越えて魂のセルフエピグノシスとなるのですか？というのは私たちはそのステートに到達しても、再び転生のサイクルに戻ってくるものと理解しているからです。

K：人類全てが自己実現に到達するからといって、人々が実存の諸世界と存在の諸世界の境界を越えることを意味するわけではありません。自己実現した惑星には、（それはその全人類がいまや一つになることを意味しますが）、創造界でやるべき他の仕事があります。他の惑星に、他の太陽系に、そして他の銀河に、他の超銀河に、同胞の人間達がいます。距離といったものは存在しません。そして前に述べたように、地球外からの人間（＊宇宙人のこと）、勿論彼等を私たちは今この地球上で体験しています。彼等の仕事は特に、地球人だけが存在するのではなく、生命はあらゆるところにあることを地球人が認識できるように助けることです。それが実際彼等の仕事です。彼等の目的は痛みを軽減するためではなく、私たちが本当の意味で考え始めるようになって、笑顔と希望と共に人生を前に進んで行くように助けることです。

Q：私たちが自己実現しても、私たちはその後もこの地球と関わるのですか？

K：もし私たちが私たちの惑星と関係し、助けを提供するなら、答えはイエスです。私たちの惑星がその目的に完全に奉仕し、または太陽系に、あるいは銀河系に奉仕することがディバインの意志であるなら、その時全ての人類は、つまりこの惑星全体は全ての人類と共に存在の諸世界に入るでしょう。

　そして勿論、自己実現した魂のセルフエピグノシスとして私たちはそこで働くのです。わかりません、何も言えませんが、しかし“最終的には”自己実現した魂は２番目の十字架を通過し、何であれ提供されることを行う準備のステートに入るでしょう。それはスピリットとしての自己実現であり、３番目の十字架です。

　最初の十字架、２番目の十字架、３番目の十字架があります。最初の十字架より上に関しては、私たちには経験に基づいた知識がありません。勿論、同じ事は他の人も同じです。私たちは“知りません”。たとえあなた方にどのような知識が提供されても（＊他からの情報として）、それは同調によるもので、個人による経験的知識ではありません。

レッスンPYR 56 エクササイズNo.1

　目を閉じて心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白な自分自身を見て、自分の形の境界を感じます…

　あなたは今どこにいるかを完全に気づいています、この場所を良く知っています…この部屋のほとんどの詳細をわかっています…この部屋が徐々にホワイトブルーの輝き、光によって包まれるのを見ます…このホワイトブルーの輝きはあなたに触れるだけでなく、あなたを包みこんでいて、あらゆるところにあります、部屋全体がこのホワイトブルーの輝きによって覆われています…あなた自身を開きそれに包まれることによって、どのような効果があるのかを感じます…

　今、さらにホワイトピンクの輝きが徐々にこの部屋全体を覆い始めます…再び、自分をオープンにして、あなたに対するその輝きの効果を感じます…

　次に、金色の輝きが徐々に部屋全体を包みこむのを見ます…あなたはこの輝きに包まれており、自分を開くことによってどのような効果があるかを感じます…今あなたは、この部屋全体を覆っている３つの異なった色の輝きによって包まれています。

　今、これらの色の輝きの中で、あなたは何かの存在を感じます、細かくは見えませんがそれは人間の形を帯びた非常に輝かしい光です…この存在があなた方一人一人の目の前にあります…そしてその存在は太陽のように輝いているので、顔をはっきり見ることができません…その存在はあなたの前にいます、目の前にいるのでその存在を感じます…

　今その存在があなたの中に入りつつあります…あなたという状態のなかに入ります…その結果、身体が軽くなって重さがないように感じます…浮いているかのようです、沢山のエネルギーとアガピを感じます…あなたの内側にたくさんのアガピを感じます、全人類に対するあなたの愛を感じ、あなたは全ての人間を愛し、敵は一人もいません…

　地球上の全ての人間のためにあなたがこのアガピを現すことを願います…人類全てに、そしてあなた自身のために良い健康を願います。終わります。

EREVNA PYR56 KE07S4 /31106